

2003年第12回日本臨床環境医学会理事会議事録

日 時：2003年6月19日(木) 16:00~18:00
 場 所：都ホテル・三笠の間
 出席者：石川 哲、安孫子保、相澤好治、石川睦男、白倉卓夫、瀬川昌也、
 田邊 等(顧問)、鈴木達夫(監事)、宮田幹夫(事務局長)
 吉田貴彦(次期会長)、坂部 貢(事務局)、菅原功一(旭川市長：代理 相田一郎)、
 辻 好美(事務局)(理事18名のうち7名出席・委任状6名) (敬称略)

1. 石川 哲 理事長挨拶

2. 菅原功一 旭川市長挨拶(代理・相田一郎旭川市保健所長)

3. 眞野行生 前会長挨拶(挨拶文代読)

昨年の総会参加者が180名であった事が報告された。

4. 土本寛二 会長挨拶(代理・鈴木達夫北里研究所病院院長補佐)

5. 吉田貴彦 次期会長挨拶

2004年7月2日(金) 3日(土) 旭川文化会館小ホールで開催される事が報告された。

6. 報告事項

事業報告

1) 2002年第11回日本臨床環境医学会総会の報告

2) 学会の会員状況の推移報告

1992年4月4日	70名			
1993年4月16日	115名	内訳	一般会員	208名
1994年6月22日	172名		名誉会員	3名
1995年5月30日	208名		役員	82名
1996年6月10日	230名		購読会員	4団体
1997年4月18日	243名		賛助会員	8団体
1998年4月27日	246名			
1999年4月28日	254名			
2000年5月20日	260名			
2001年6月13日	280名			
2002年6月10日	301名			
2003年6月11日	305名			

旧役員の退会の報告

評議員：筒井未春(東邦大学付属大森病院心療内科)、牧野 勲(旭川医科大学第2内科)、櫻木章三(秋田大学医学部眼科)、村上忠司(老健施設フェニックス)、石井公道(国立療養所南横浜病院)

3) 2002年(平成14年)度会計、監査が報告され承認された。

4) 編集報告

5) 石川哲理事長より学会に50万円の寄付があった事が報告された。

7. 審議事項

1) 理事長選出内規作成、学会会則の改正

内規作成に関する討議が行われた。

会則変更について次のような案が審議され承認された。(下線が変更部位)

第四章 構成

第2条 理事長および副理事長は理事会に於いて理事の互選により選出し、評議員会に報告、総会で承認する。任期は2年とし、再任を妨げない。

第5条 理事および監事は理事会が推薦し、評議員会に報告、総会で承認する。任期は2年とし、再任を妨げない。

第V章 学術集会、総会、理事会、および評議員会

第2条 総会は会員をもって構成する。総会の運営に関する細目は、理事長が理事会に諮り決定する。総会は理事会の決定に基づき、理事長が召集し、会長が議長をつとめる。総会の議事は出席者の過半数の賛成を得て決定する。可否同数の時は議長が決定する。また学術集会業務は会長が別に執り行う。

なお、評議員会の位置付けをはじめ会則の改正については、引き続き検討する事となった。

2) 理事長選挙

理事長選挙管理委員として田邊等顧問、安孫子保副理事長が選出された。

新理事長に宮田幹夫北里研究所病院臨床環境医学センター客員部長が選出された。

3) 顧問、名誉会員の推薦と選出

顧問として石川哲前理事長、安孫子保前副理事長が推薦され承認された。

名誉会員として阿岸祐幸前理事、白倉卓夫前理事が推薦され承認された。

4) 新理事の推薦と選出

新理事として鈴木達夫北里研究所医療環境科学センター長、吉野博東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授、内山巖雄京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻教授、坂部貢北里研究所病院臨床環境医学センター部長が推薦され承認された。

5) 副理事長指名、編集担当理事の推薦と選出

副理事長として相澤好治北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授、瀬川昌也小児神経学クリニック院長が推薦され選出された。なお相澤好治副理事は理事長代行に指名された。

編集担当理事として坂部貢北里研究所病院臨床環境医学センター部長が推薦され承認された。

6) 新評議員の推薦と選出

角田和彦坂総合病院小児科部長、中村陽一国立高知病院アレルギー科部長、野村芳子瀬川小児神経学クリニック副院長、神山潤東京医科歯科大学小児科助教授が推薦され承認された。

7) 新監事の推薦と選出

新監事として山田高也北里研究所病院バイオメディカル室長が推薦され承認された。

8) 次々期会長の推薦と選出

石竹達也久留米大学医学部環境医学教室教授が推薦され承認された。

9) 2003年(平成15年)度予算(案)が審議され決定された。

以上